

## てがたんレポート Vol. 4 No. 8 (2007年8月：通巻41号)

- ・ 観察コースと内容：鳥博→水の館西側の水田沿いの水路→遊歩道→釣り堀脇の広場（まとめとお知らせ後解散）
- ・ 観察日時/天気：2007年8月11日（土）10:00～12:00/晴れ
- ・ 参加人数：26人（うち中学生以下6人）
- ・ 観察案内&記録ボランティア・スタッフ：12人（敬称略・五十音順）：伊東茂子、木村稔、小泉伸夫、染谷迪夫、中野久夫、弘實さと子、古川克彌、松原昭福、松村定雄、水上香苗、保田行弘、湯瀬一栄
- ・ 鳥博職員：岡 廣志、斉藤安行

今回のテーマ：水生生物  
案内人：染谷迪夫さん

### 観察記録ー8月に観察した生き物リストー

#### ★観察した生き物

【鳥類】カイツブリ、カワウ、カルガモ、オオバン、キジバト、カワセミ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、オオヨシキリ、シジュウカラ、コイカル、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス

#### 【両生類】

アマガエル、トウキョウダルマガエル

#### 【魚類】

メダカ、ヨシノボリ、クチボソ（モツゴ）

#### 【甲殻類】

スジエビ、アメリカザリガニ

#### 【昆虫】

- ・ バッタの仲間：コバネイナゴ、ヒシバッタ、ショウリョウバッタ、オンブバッタ、クルマバッタモドキ、イボバッタ、クサキリ、エンマコオロギ、オカメコオロギ、タンボコオロギ、マダラスズ、シバズ、ケラ
- ・ トンボの仲間：コシアキトンボ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ、ウチワヤンマ、ノシメトンボ、アジアイトトンボ、アオイトトンボ
- ・ カメムシの仲間：ヒメアメンボ、アブラゼミ、ツクツクボウシ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、ニイニイゼミ
- ・ カマキリの仲間：チョウセンカマキリ幼虫、ハラビロカマキリ
- ・ ゲンゴロウの仲間：ヒメゲンゴロウ
- ・ チョウの仲間：アゲハ、クロアゲハ、アオスジアゲハ、ヤマトシジミ、ツバメシジミ、ベニシジミ、イチモンジセセリ、モンシロチョウ、スジグロシロチョウ、モンキチョウ、ウラギンヒョウモン、ヒメアカタテハ
- ・ 甲虫の仲間：ヤマトタマムシ（死体）、マメコガネ、ヒメゲンゴロウ

#### 【クモ】

・ ナガコガネグモ、クサグモ

#### 【その他植物】

・ ウマビル、ミミズの仲間

#### 【花】

- ・ オモダカ、ヘラオモダカ、セリ、ハルジオン、オオアレチノギク、シロツメクサ、セイヨウタンポポ、クサイ、テンツキ、コケオトギリ、キシウスズメノヒエ、メヒシバ、エノコログサ、キンエノコロ、オオジシバリ、アメリカアゼナ、マコモ、ボタンクサギ、アメリカタカサブロウ、ハキダメギク、ヤブガラシ、ヘクソカズラ、ウリクサ、トキワハゼ、キョウチクトウ（植栽）、ハナソノツクバネウツギ（植栽栽培種）、キンシバイ（植栽）、ムクゲ（植栽）、サルスベリ（植栽）、イネ（栽培種）、ダイズ（栽培種）、ヤマハギ（植栽）

#### 【木の実や種】

・ アカメガシワ、ミズキ、エノキ、ヨウシュヤマゴボウ

#### 【生き物同士のかかわり合い観察】

・ 葉にかかり、捕食されるシオカラトンボとノシメトンボ



# 8月の観察アルバム



田んぼのわきの3面コンクリート護岸された排水路には、水深数cmの水が流れていました。

メダカとヨシノボリ（トウヨシノボリ?）、ヒメアメンボ、ヒメゲンゴロウ、ウマビル、トウキョウダルマガエルなどが見つかりました。

また、シオカラトンボが水路内を頻りに往来し、他個体を追い出していました。

水路上の空間をさえぎる様に張られたナガコガネグモの網には、シオカラトンボが多数ひっかかっています。



トウキョウダルマガエルは、3面護岸を登ることができません



シオカラトンボを捕食するナガコガネグモ



ケラ



ウマビル

ほとんどの田んぼは、水を落としましたが、畦に沿って流れる水路にはコナギやオモダカが伸びていました。

泥底をタモ網ですくうと、アメリカザリガニの幼体が捕れました。

釣り堀からの流水口付近は、ヒメガマやマコモに囲まれた入り江になっています。

コシアキトンボのオスがなわばりへの侵入者を下から押し上げるように追い出す様子が観察できます。

「もんどり」をしかけたところ、クチボソがたくさん入っていました。

マコモの間には、スジエビもたくさんみられます。



奥いが無ければ上品な？ヘクソカズラの花



蜜たっぷりのヤブガラシの花



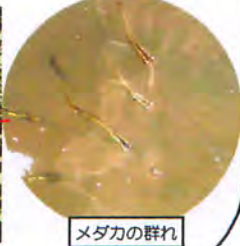
田んぼの雑草オモダカの花



水の館前の田んぼの水路は、ここで手賀沼に注いでいます。つまり、水路は手賀沼とつながっていて、手賀沼が田んぼや水路の生き物の供給源となることが分かります。

この排水口周辺には、メダカやスジエビが沢山群れていました。

タイリクバラタナゴの稚魚もみられます。



メダカの群れ



アカメガシワの雌株に果実が実り始めました



植栽されたミズキにも果実がつきはじめました



稲穂が稔り始めました



水路の中にもコナギが繁殖していました



アゲハがじゃぶじゃぶ池の縁で吸水していました



メタセコイヤにアブラゼミの抜け殻が多数ついていました